

## 令和5年度 海辺の森管理業務実績報告書

項目	計画内容	実施内容
<p>経営理念・経営方針</p>	<p>○ “すべての利用者に公平, 平等な利用を提供し、幼児からお年寄りまで沢山の人が安全, 安心に楽しめる施設” を目指します。</p> <p>○ 令和5年度総合的な管理運営方針 風光明媚な日本海を背景に豊かな緑の自然の中で “見る” “聞く” “体験する” をテーマにロマンに溢れ人々が交流できる海辺の森にしたいと考えている。海辺の森を訪れた人々に “来る人に感動を、去る人に幸せを！” をフレーズとした森づくりを目指し、新潟市民が誇れる第一級の観光地を目指していきます。</p> <p>すべての利用者に公平、平等なサービスを提供し、幼児からお年寄りまで沢山の人が安全・安心に楽しめる施設を目指し「人々の活動を支える安全・安心の充実」「地域住民との協働による交流促進」「海辺の森の歴史・文化・自然資源の掘起しでアイデンティティの育成」を管理運営方針とし“海辺の森憲章”を提唱いたします。</p>	<p>○ 新型コロナウイルスは収束傾向にある中、顧客対応において感染拡大防止に努めて細心の注意を払いながら安心安全な運営を目指しました。</p> <p>○ 海辺の森キャンプ場・わんぱくの森・管理棟で、地域住民とボランティアスタッフと協働でイベントを企画・開催できました。(5回/年) 今後、地域住民との連携体制をさらに強化して地域と共に継続的にイベントを定期開催し交流人口拡大と認知度向上目指し精力的に活動して参ります。まだ海辺の森を知らない潜在層に対して海辺の森キャンプ場を知って頂き、自然を大切にする取り組みと意思も同時に発信していきます。</p> <p>コミュニティビジネスの継続推進を図りつつ、新しい運営スタイルの構築について勉強会を定期開催します。ソーシャルビジネスの観点から地域課題を解決する糸口を模索していく事業モデルとその仕組みを構築します。</p> <p>○ 雪害による松の被害が多く散見された。枝剪定、倒木起こしを実施し、夏場の雨不足による松枯れ被害を最小限に食い止める為、毎日、灌水作業に努めて参りました。本年度から松の保育管理は「植樹」から「保育管理」へと舵を取り、今ある松苗を大切に育成管理することに注力し、花咲く小路や花壇エリアへ多年草の草花植栽を実施しました。来る人の喜ぶ森とキャンプ場周辺エリアの保全美化に努めました。</p> <p>① チームエコの活動は天候不良により中止となりましたが 労金さんや地域の有志の集まりと構内の松の車枝落としを行いました。</p> <p>② 手ぶら BBQ サイト脇園路「花咲く小路」にツツジ、ひまわり、コスモスなどの草花を植栽しました。</p> <p>③ わんぱくの森トイレ前・工房前にひまわり、オルレア、</p>

		<p>コスモスなどの草花を植栽しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○乗用草刈り機や大型草刈り機を効率よく稼働させ、施設のより細やかな環境美化に努めました。</li> <li>○近年まれにみる豪雪の被害で、松やニセアカシアの枝折れが多発しましたが、迅速に撤去・処分を実施しました。</li> </ul>
<p>指定管理者申請の動機</p>	<p>風光明媚な日本海を背景に、豊かな緑の自然の中で“見る”“聴く”“体験する”をテーマに、ロマンにあふれ人々が交流できる海辺の森にしたいと考えています。</p> <p>海辺の森を訪れた人々に“来る人に感動を、去る人に幸せを！”フレーズとした森づくりを目指して、新潟市民が誇れる「来たくなる、又、来たくなる」第1級の観光地にしたいと思い指定管理者に応募しました。</p>	<p>初心の動機を忘れずに活動しました。</p> <p>またコロナ禍の続く中で感染予防の徹底に努めつつ、海辺の森の認知度を底上げできるよう広報とイベント活動を継続的に行いました。またハードの面では施設の老朽化が進んでいる箇所での修繕やリフォーム等を内製し、少しでも、お客様にとって快適な環境と安心、楽しみを提供できるように既存施設の有効利用に努めて参りました</p>

<p>運営管理業務に係る計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運営体制</li> <li>・ 利用者数、 使用料収入見込 ほか</li> </ul>	<p>私たちは本施設の運営に対し、「海辺の森憲章」の思いに沿って施設の育みを支えるスキルを確保し、常に応急の維持管理運営に対応できる体制を維持します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地元雇用スタッフと現場知を活用</li> <li>○運営の工夫と交渉力で課題対応</li> <li>○森の緑の輝きを增強する力</li> <li>○総合リサイクルのアイデア充実</li> <li>○活動環境を設計する力</li> <li>○キャンプ場予約状況のHP 公開</li> <li>○平日利用の県内外企業団体への積極的 PR、営業による利用者数, 使用料の増加を目指します。</li> <li>○地域と連携したコミュニティビジネスの場づくりにより、利用者数増加を目指します。</li> </ul> <p>目標値：利用者数 7,000 人以上、市使用料 3,300,000 円以上</p>	<p>コロナ禍ではありましたが、行政や地域関係者との協働を通じて事故なく乗り切ることができました。</p> <p>地域と連携したコミュニティビジネスは、徐々に広がりを見せ地域に根付いてきました。昨年度採用した LINE のグループ化が管理スタッフ、CB 南浜カンパニーで活用され、情報の共有化、迅速化、作業効率向上につながりました。地域の小中学校・大学と連携を深めキャンプ場や集い棟の利用頻度が向上した。広報を強化し PR を重ねて更なる施設利用者を増やしていきます。</p> <p>令和 4 年度における利用者数は 6,481 人、市使用料が 3,243,600 円でしたが、令和 5 年度における利用者数は 7,716 人、市使用料が 3,941,350 円となり、目標値を超えることができました。利用者の更なる増加に向けて努めて参ります。</p>
<p>維持管理業務に係る計画</p>	<p>“安全を最優先とした施設の維持管理業務”を重点的に行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○施設保安活動 耐用年数を超えても、修繕可能な施設はマルチ管理スタッフと共に、地元専門業者を活用し迅速に対処します。</li> <li>○施設機能管理 施設設備機能は安全性を十分に考慮し、利用者に影響がでないよう、マルチ管理スタッフと共に地元専門業者に委託し迅速に対処します。</li> <li>○清掃 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「海辺の森」の利用者の皆様に、快適な緑の森の森林空間の提供に努めます。</li> <li>・除草：伐採 エリア毎に除草、伐採計画を策定し、通常の除草伐採班と別機動隊（ウエルロガー）による林床整備有償ボランティア活動の実施。</li> <li>・環境衛生管理 東屋等建築施設の高圧洗浄機による、ハチの巣, 毛虫, クモの巣等の除去。計画的なゴミ分別, 運搬処理。</li> </ul> </li> </ul>	<p>“安全を最優先とした施設の維持管理業務”を重点的に行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○施設保安活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・エリア巡回において不法投棄や清掃活動を強化しました。（記録写真撮影し産業振興課へ報告）</li> <li>・管理棟に監視カメラを 4 台設置し保安レベル向上を図りました。</li> <li>・スタッフ其々に担当者を配置し役割を決めて適材適所に業務担当を決めて内製作業項目を増やしました。</li> </ul> </li> <li>○施設機能管理 施設設備機能は安全性を十分に考慮し、利用者に影響がでないよう、管理スタッフまたは、地元専門業者に委託し迅速に対処しました。</li> <li>○清掃 <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレやシャワー室など水周り施設が経年使用のため汚れがひどい状況でオープン前に清掃とカビ取りを徹底的に行いました。トイレ・シャワー室、炊事棟など水回りは特に入念に清掃管理を行い環境の美化に努めました。</li> <li>・クモの巣やアメシロ、蜂駆除に力を入れて快適な環境作</li> </ul> </li> </ul>

		りに努めて参りました。
<p>自主事業の事業計画</p>	<p>1. 利用者の利便性を図るため自主事業</p> <p>(1) 物品の販売 マルチ管理スタッフによる、ニセアカシアの伐採管理の薪販売。400円×500束=200,000円/年など合計350,000円（詳細別紙収支計画 積算内訳）</p> <p>(2) レンタルサービス バーベキュー用品, 自転車, その他園内移動ツールのレンタル（海辺の森再整備と併せ、セグウェイ等の園内移動ツールの検討を行っていきます。） ・バーベキュー用品など（コンロ・チェアー・ランタン・シチリン）シュラフ ・自転車（大人用・子供用）など合計343,000円</p> <p>(3) CB商品 コミュニティビジネスで作った商品の販売</p> <p>(4) 手ぶらBBQ 売上目標130セット1,300,000円</p> <p>2 利用者の増加を図るための自主事業</p> <p>1) 海辺の森賑わい創出 （①四季の森桜林活用オートキャンプ場②イベント開催</p> <p>2) 南浜地域振興事業（①森の工房オープンカフェ化計画立案②敬和学園生徒によるテントデフォルメ）</p> <p>3) 海辺の森自然体験事業（①クラフト体験教室森の工房・第2工房 ②スタンプラリーBOX活用③カブトムシハウス体験&amp;ネイチャーガイド ④ドラム缶風呂体験⑤火起こし・塩づくり体験 ⑥ビックシャボン玉体験型・アトラクション型 ⑦情報発信 YouTube・コンサルティング ⑧桜コースター）</p>	<p>1. 利用者の利便性を図るため自主事業</p> <p>(1) 物品の販売 管理スタッフによる、ニセアカシア伐採管理で作った薪の販売は600円×734束=440,400円/年で、販売計画し、その1.5倍を販売しました。今後はキャンパーだけでなく暖炉ユーザーなど幅広く販路拡大に繋げて参ります。</p> <p>(2) レンタルサービスについて 今年度はお客様のご要望が多かったバーベキュー用品やキャンプグッズ等のレンタルを開始しました。次年度は自転車レンタルを充実させ海辺の森周辺を探索できるサービス開始します。（マウンテンバイク20台をレンタル開始※保護具セット、保険対応済）セグウェイは未購入でした。</p> <p>(3) CB商品販売について クラフト教室が好評でした。例年と同程度でした。門松作りやクラフトに関してコンテンツの差別化と販路開拓に力を入れて参ります。</p> <p>(4) 手ぶらBBQに関して 手ぶらBBQの売上は102セット1,020,000円 持ち込みBBQサービスを開始して45セット135,000円 目標未達でしたがPR発信とプランの充実を図り、お客様を喜ばすことができるよう目標達成を目指します。</p> <p>1. の自主事業としては、概ねは計画をやや上回る実績をあげました。さらなる認知度アップへの広報とコンテンツ拡充により実績が向上すると思われます。</p> <p>2 利用者の増加を図るための自主事業 コロナも落ち着き始め定期的にイベントを開催しました。売上高への貢献もわずかではありましたが、ほぼ計画通りの活動が出来ました。次年度には、その経験スキルを活用し、より多くの利用者に満足度の高いサービスを提供するように努めて参ります。</p>

<p>支出計画</p>	<p>○指定管理者  人件費 11,495,000 円  管理費 11,580,000 円  事務費 1,705,000 円  諸経費 920,000 円  小計 25,700,000 円  (令和 5 年度収支計画書参照)</p> <p>○自主事業  収益 4,330,000 円</p>	<p>○指定管理者  人件費 7,691,306 円  管理費 13,375,533 円  事務費 2,525,856 円  諸経費 2,913,102 円  小計 26,505,797 円  (令和 5 年度収支報告書参照)</p> <p>○自主事業  収益 3,796,784 円</p>
<p>組織・人員体制</p>	<p>○組織  森の会本部と現場勤務は、その専門性で業務を分配します。管理運営の現場スタッフと業務本部となる森の会は、総務、経理業務を担当し、企画はNPO 法人森の会理事で立案します。  経営会議では、経営全般、指定管理者として業務が適正に履行できているかを確認し、課題解決を図ります。</p> <p>○人員体制  総括管理責任者（施設管理所長）を配し、施設管理主任を中心に、マルチ管理スタッフ（主任含む）4 名（シフト制）、事務職 1 名が常駐で管理運営を行います。  森の会本部では、総務、企画を担当し非常勤的に運営を支援していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総括責任者（施設管理所長） 1 名</li> <li>・マルチ管理スタッフ主任 1 名（4 人シフトで</li> <li>・マルチ管理スタッフ 2 名 毎日 2 人以上勤務確保)</li> <li>・事務職 1 名</li> <li>・宿直員 5 名（5 人シフトで宿泊利用日 2 勤務確保)</li> </ul>	<p>○組織  森の会本部にて総務・経理業務を行いました。海辺の森運営スタッフとは月一回のスタッフ代表者会議で意思の疎通、並びに課題解決を図りました。  経営会議は、概ね 2 か月に 1 回のペースで開催し、事業の履行進捗状況を共有し、改善を図りました。</p> <p>○人員体制  統括責任者（施設管理所長）を配し、施設管理主任を中心に、管理スタッフ（主任含む）5 名（シフト制）、事務職 1 名が常駐で管理運営を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総括責任者（施設管理所長） 1 名</li> <li>・管理スタッフ 4 名（5 人シフトで毎日 2 人以上勤務)</li> <li>・事務職 1 名</li> <li>・宿直員 4 名（4 人シフトで宿泊利用日 2 勤務確保)</li> </ul>

<p>雇用・労働条件</p>	<p>○施設の育みを支えるスキル体制の雇用。          ・地元雇用スタッフの現場知を活用。          ・運営の工夫と交渉力で課題対応。          ・森の輝きを增強する力。          ○マルチ管理スタッフ          ・40時間 8hr ※5日/週体制で3人シフト制</p> <p>○宿直員          ・30時間 15hr ※2日/週体制で5人シフト</p> <p>○本部スタッフ          ・24時間 8hr ※3日/週体制非常勤</p>	<p>雇用・労働条件については、高齢者がほとんどであり、無理のない勤務状況を徹底しました。          ○施設の育みを支えるスキル体制の雇用。          ・地元雇用スタッフの現場知と適材適所の配置を活用。          ○宿直員          ・16時間 8hr ※2日/週体制で4人シフト</p> <p>○管理スタッフ          ・24時間 8hr ※3日/週体制非常勤</p> <p>※日直スタッフ増員5人→7人体制にします。          給料時間給 R6年度に 931円→961円賃金ベースアップ予定</p>																																																												
<p>安全確保及び緊急時の対応</p>	<p>海辺の森 災害・危機管理マニュアル作成済み          避難訓練</p> <table border="1" data-bbox="568 842 1290 1299"> <thead> <tr> <th>プログラム名</th> <th>内容</th> <th>対象</th> <th>頻度・講師</th> <th>能力向上対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安全教育 (ミーティング)</td> <td>作業機械の安全な使用方法や来園者の安全を守る教育</td> <td>管理・作業スタッフ</td> <td>1回/日 内部講師</td> <td>園内安全対策の強化</td> </tr> <tr> <td>こども110番の家 教育</td> <td>インフォメーションセンターに子どもが助けを求めたときの対応方法</td> <td>管理・作業スタッフ</td> <td>1回/年 内部講師</td> <td>緊急時対応金運</td> </tr> <tr> <td>介護サービス研修</td> <td>体が不自由な方や高齢者の方への介護方法の教育</td> <td>管理・作業スタッフ</td> <td>1回/年 外部講師</td> <td>介助訓練</td> </tr> <tr> <td>救急救命訓練</td> <td>救急手当の講習 (心臓蘇生法・AED使用法 火災・地震・津波)</td> <td>未講習者 未更新講習者</td> <td>1回/年 消防署</td> <td>救急救命訓練</td> </tr> <tr> <td>防災訓練/ 消防設備保守点検</td> <td>防災の訓練 (通報・消火・避難訓練) 消火器等の点検</td> <td>管理・作業スタッフ</td> <td>2回/年 消防署</td> <td>緊急時対応訓練及び保守点検</td> </tr> </tbody> </table>	プログラム名	内容	対象	頻度・講師	能力向上対策	安全教育 (ミーティング)	作業機械の安全な使用方法や来園者の安全を守る教育	管理・作業スタッフ	1回/日 内部講師	園内安全対策の強化	こども110番の家 教育	インフォメーションセンターに子どもが助けを求めたときの対応方法	管理・作業スタッフ	1回/年 内部講師	緊急時対応金運	介護サービス研修	体が不自由な方や高齢者の方への介護方法の教育	管理・作業スタッフ	1回/年 外部講師	介助訓練	救急救命訓練	救急手当の講習 (心臓蘇生法・AED使用法 火災・地震・津波)	未講習者 未更新講習者	1回/年 消防署	救急救命訓練	防災訓練/ 消防設備保守点検	防災の訓練 (通報・消火・避難訓練) 消火器等の点検	管理・作業スタッフ	2回/年 消防署	緊急時対応訓練及び保守点検	<p>海辺の森 災害・危機管理マニュアルに基づく避難訓練を実施しました。また、命の緊急性を要する AED 講習については消防署講師を招き 1 回実施しました。          コロナ禍の細かな対応を行政との協働でやることができました。</p> <table border="1" data-bbox="1388 842 2110 1305"> <thead> <tr> <th>プログラム名</th> <th>内容</th> <th>対象</th> <th>頻度・講師</th> <th>能力向上対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安全教育 (ミーティング)</td> <td>作業機械の安全な使用方法や来園者の安全を守る教育</td> <td>管理・作業スタッフ</td> <td>1回/日 内部講師</td> <td>園内安全対策の強化</td> </tr> <tr> <td>こども110番の家 教育</td> <td>インフォメーションセンターに子どもが助けを求めたときの対応方法</td> <td>管理・作業スタッフ</td> <td>1回/年 内部講師</td> <td>緊急時対応金運</td> </tr> <tr> <td>介護サービス研修</td> <td>体が不自由な方や高齢者の方への介護方法の教育</td> <td>管理・作業スタッフ</td> <td>1回/年 外部講師</td> <td>介助訓練</td> </tr> <tr> <td>救急救命訓練</td> <td>救急手当の講習 (心臓蘇生法・AED使用法 火災・地震・津波)</td> <td>未講習者 未更新講習者</td> <td>1回/年 消防署</td> <td>救急救命訓練</td> </tr> <tr> <td>防災訓練/ 消防設備保守点検</td> <td>防災の訓練 (通報・消火・避難訓練) 消火器等の点検</td> <td>管理・作業スタッフ</td> <td>2回/年 消防署</td> <td>緊急時対応訓練及び保守点検</td> </tr> </tbody> </table>	プログラム名	内容	対象	頻度・講師	能力向上対策	安全教育 (ミーティング)	作業機械の安全な使用方法や来園者の安全を守る教育	管理・作業スタッフ	1回/日 内部講師	園内安全対策の強化	こども110番の家 教育	インフォメーションセンターに子どもが助けを求めたときの対応方法	管理・作業スタッフ	1回/年 内部講師	緊急時対応金運	介護サービス研修	体が不自由な方や高齢者の方への介護方法の教育	管理・作業スタッフ	1回/年 外部講師	介助訓練	救急救命訓練	救急手当の講習 (心臓蘇生法・AED使用法 火災・地震・津波)	未講習者 未更新講習者	1回/年 消防署	救急救命訓練	防災訓練/ 消防設備保守点検	防災の訓練 (通報・消火・避難訓練) 消火器等の点検	管理・作業スタッフ	2回/年 消防署	緊急時対応訓練及び保守点検
プログラム名	内容	対象	頻度・講師	能力向上対策																																																										
安全教育 (ミーティング)	作業機械の安全な使用方法や来園者の安全を守る教育	管理・作業スタッフ	1回/日 内部講師	園内安全対策の強化																																																										
こども110番の家 教育	インフォメーションセンターに子どもが助けを求めたときの対応方法	管理・作業スタッフ	1回/年 内部講師	緊急時対応金運																																																										
介護サービス研修	体が不自由な方や高齢者の方への介護方法の教育	管理・作業スタッフ	1回/年 外部講師	介助訓練																																																										
救急救命訓練	救急手当の講習 (心臓蘇生法・AED使用法 火災・地震・津波)	未講習者 未更新講習者	1回/年 消防署	救急救命訓練																																																										
防災訓練/ 消防設備保守点検	防災の訓練 (通報・消火・避難訓練) 消火器等の点検	管理・作業スタッフ	2回/年 消防署	緊急時対応訓練及び保守点検																																																										
プログラム名	内容	対象	頻度・講師	能力向上対策																																																										
安全教育 (ミーティング)	作業機械の安全な使用方法や来園者の安全を守る教育	管理・作業スタッフ	1回/日 内部講師	園内安全対策の強化																																																										
こども110番の家 教育	インフォメーションセンターに子どもが助けを求めたときの対応方法	管理・作業スタッフ	1回/年 内部講師	緊急時対応金運																																																										
介護サービス研修	体が不自由な方や高齢者の方への介護方法の教育	管理・作業スタッフ	1回/年 外部講師	介助訓練																																																										
救急救命訓練	救急手当の講習 (心臓蘇生法・AED使用法 火災・地震・津波)	未講習者 未更新講習者	1回/年 消防署	救急救命訓練																																																										
防災訓練/ 消防設備保守点検	防災の訓練 (通報・消火・避難訓練) 消火器等の点検	管理・作業スタッフ	2回/年 消防署	緊急時対応訓練及び保守点検																																																										

<p>要望・苦情への対応</p>	<p>作成済みの接客マニュアルにより適切に対処、記録に残し再発を防止</p>	<p>接客マニュアルにより適切に対処、記録に残し再発を防止に努めました。統括管理責任者や森の会役員と協議し、速やかにクレーム対応にあたりました。</p>												
<p>個人情報の取扱</p>	<p>安心して施設を利用していただくため、個人情報に関して関連法令・条例を遵守します。</p> <table border="1" data-bbox="573 411 1339 660"> <thead> <tr> <th data-bbox="573 411 721 443">ポイント</th> <th data-bbox="730 411 1339 443">具体的な方策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="573 450 721 545">紙データの管理</td> <td data-bbox="730 450 1339 545"> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報の記載された裏紙の使用禁止。</li> <li>保存期間の過ぎた資料は、細かく裁断して破棄処分。</li> <li>無計画な複製をしない。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="573 552 721 660">電子データの管理</td> <td data-bbox="730 552 1339 660"> <ul style="list-style-type: none"> <li>パスワードによる厳格な運用管理。</li> <li>業務用パソコン,外付けメモリの外部持出しの禁止。</li> <li>個人所有のパソコンの持ち込み禁止。業務での使用禁止。</li> <li>システム管理の許可なく、ソフトウェアのインストール禁止。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	ポイント	具体的な方策	紙データの管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報の記載された裏紙の使用禁止。</li> <li>保存期間の過ぎた資料は、細かく裁断して破棄処分。</li> <li>無計画な複製をしない。</li> </ul>	電子データの管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>パスワードによる厳格な運用管理。</li> <li>業務用パソコン,外付けメモリの外部持出しの禁止。</li> <li>個人所有のパソコンの持ち込み禁止。業務での使用禁止。</li> <li>システム管理の許可なく、ソフトウェアのインストール禁止。</li> </ul>	<p>個人情報に関して関連法令・条例を遵守するよう朝礼で意識づけを行いました。</p> <table border="1" data-bbox="1388 411 2139 660"> <thead> <tr> <th data-bbox="1388 411 1536 443">ポイント</th> <th data-bbox="1545 411 2139 443">具体的な方策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1388 450 1536 545">紙データの管理</td> <td data-bbox="1545 450 2139 545"> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報の記載された裏紙の使用禁止。</li> <li>保存期間の過ぎた資料は、細かく裁断して破棄処分。</li> <li>無計画な複製をしない。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1388 552 1536 660">電子データの管理</td> <td data-bbox="1545 552 2139 660"> <ul style="list-style-type: none"> <li>パスワードによる厳格な運用管理。</li> <li>業務用パソコン,外付けメモリの外部持出しの禁止。</li> <li>個人所有のパソコンの持ち込み禁止。業務での使用禁止。</li> <li>システム管理の許可なく、ソフトウェアのインストール禁止。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	ポイント	具体的な方策	紙データの管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報の記載された裏紙の使用禁止。</li> <li>保存期間の過ぎた資料は、細かく裁断して破棄処分。</li> <li>無計画な複製をしない。</li> </ul>	電子データの管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>パスワードによる厳格な運用管理。</li> <li>業務用パソコン,外付けメモリの外部持出しの禁止。</li> <li>個人所有のパソコンの持ち込み禁止。業務での使用禁止。</li> <li>システム管理の許可なく、ソフトウェアのインストール禁止。</li> </ul>
ポイント	具体的な方策													
紙データの管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報の記載された裏紙の使用禁止。</li> <li>保存期間の過ぎた資料は、細かく裁断して破棄処分。</li> <li>無計画な複製をしない。</li> </ul>													
電子データの管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>パスワードによる厳格な運用管理。</li> <li>業務用パソコン,外付けメモリの外部持出しの禁止。</li> <li>個人所有のパソコンの持ち込み禁止。業務での使用禁止。</li> <li>システム管理の許可なく、ソフトウェアのインストール禁止。</li> </ul>													
ポイント	具体的な方策													
紙データの管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報の記載された裏紙の使用禁止。</li> <li>保存期間の過ぎた資料は、細かく裁断して破棄処分。</li> <li>無計画な複製をしない。</li> </ul>													
電子データの管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>パスワードによる厳格な運用管理。</li> <li>業務用パソコン,外付けメモリの外部持出しの禁止。</li> <li>個人所有のパソコンの持ち込み禁止。業務での使用禁止。</li> <li>システム管理の許可なく、ソフトウェアのインストール禁止。</li> </ul>													
<p>環境保護の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ減量対策 HP,パンフレット等でPRし、ゴミ減量化に努めます。</li> <li>・リサイクル対策 キャンプ場内で発生したゴミは、分別し、月14回法令等遵守し計画的に運搬処理します。</li> <li>・省エネ対策 管理棟,つどい棟周辺に、夏季は緑陰樹（グリーンカーテン）を設け、外気温低下時は薪ストーブによって暖をとります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ減量対策 キャンパーには、基本的にはゴミの持ち帰りをしていただきました。マナーの向上と利便性を上げる目的でゴミの回収サービスを開始し好評でした。</li> <li>・リサイクル対策 キャンプ場内で発生したゴミは、分別し、法令等遵守し計画的に運搬処理しました。</li> <li>・省エネ対策 令和元年度に東北電力から新電気民間事業者へ移行し、継続してスタッフへの啓蒙活動を実施しています。</li> <li>・SDGsへの取り組みとして、海岸清掃で発生した流木や古材、伐採材を活用してベンチ、テーブル、スツール等の製作・設置を行いました。</li> <li>・海辺の森協議会の構成員として、海辺の森に敬意を払い海岸林保全活動に積極的に参加し、保全活動を牽引して参りました。</li> </ul>												
<p>地元経済振興及び雇用確保の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協,地元農家,浜茶屋組合,商店街,観光協会とタイアップしたコミュニティビジネスの場づくり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元漁協との協働で、地引網を2回実施しました。</li> <li>・わんぱくの森管理棟を拠点に南浜コミュニティとのCBの活動を継続、地域に浸透しています。特に、海辺の森の木質資源を活用したクラフト体験講座やミニ門松づくり体験、リースづくり体験等は、育成協や地域の小中学校、保育園をはじめ自治会、スポーツ振興会、商工会等に人気</li> </ul>												

		<p>あり好評です。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地元就農家と連携したキャンプ場での新鮮野菜や南浜スイカ・トウモロコシ・サツマイモ等の販売を行いました。</li><li>・キャンプ場の BBQ 素材として、南浜漁協の漁貝類の提供やイベント時での漁協ブースの出店等の「海と森と農」が三位一体となった地元経済振興を図ってきました。</li></ul>
--	--	--